



後期研修卒業生 平田一成

広島市民病院消化器内科は、7名の後期研修医が集まった楽しく賑やかな雰囲気のある診療科です。スタッフの先生はとても熱心で親身にご指導くださり、コ・メディカルの方々も優しく研修に協力的に接していただけます。消化管グループではEGD・CSは勿論、EMR・ESD・ERCPと、肝臓グループではUSを始め、TACE、RFAと基本的な手法から専門性の高い手技を学ぶことができます。

また、週に1度の総合診療科外来・救急当番では消化器内科に限らず初療から自分で考える臨床能力を養うことができ、非常に恵まれた環境で研修を行っています。そして、職場から少し歩けば広島市中心街であり、プライベートも充実させられます。是非、広島と一緒に仕事しましょう！

～ 交通アクセス ～

【電車】

- JR 広島駅(山陽本線)方面から
広島電鉄 2系統宮島線 約12分 紙屋町東下車
徒歩 約7分
- JR 横川駅(山陽本線)方面から
広島電鉄 7系統 約13分 紙屋町西下車
徒歩 約9分

【バス】

- バスセンター下車 徒歩 約7分

【アストラム】

- 県庁前下車 地下道より直通

【飛行機】

- 広島空港→バスセンターまでバスで約50分位

地方独立行政法人広島市立病院機構

広島市立広島市民病院

消化器内科

のご案内

基幹型・内科領域

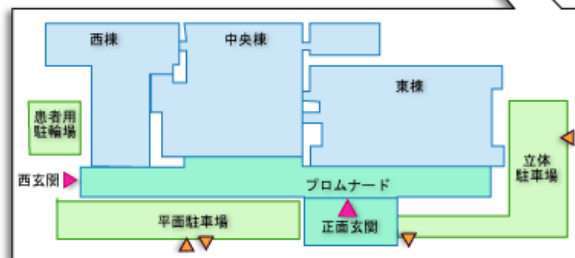
当院は、**基幹型・内科領域専門研修プログラム**の基幹施設です。

	基幹型専門研修プログラム名等	期間
基幹施設	広島市民病院内科専門研修プログラム	3年
連携施設	岩国医療センター・広島市立舟入市民病院 広島通信病院・福生協病院・JR広島病院	

20200601

消化器内科専攻医 週間スケジュール (例)

	月	火	水	木	金	土	日
午前	胆膵 カンファ		合同 カンファ	外来 診療			担当患者の 病態に応じ た診療/ オンコール/ 日当直/ 講習会/ 学会参加 など
	腹部 超音波	胆膵 内視鏡	上部 内視鏡		上部 内視鏡		
午後	下部 内視鏡	肝生検 RFA	腹部 アンギオ		下部 内視鏡		
	入院患者診療						
	内視鏡 カンファ	合同 カンファ		内科 カンファ 肝臓 カンファ			
	担当患者の病態に応じた診療/オンコール/当直など						



広島市立広島市民病院

〒730-8518

広島県広島市中区基町7番33号

電話番号: 082-221-2291(代表)

FAX 番号: 082-223-5514(代表)

<http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>

《病院見学等問合せ先》

事務室総務課人事係(研修管理委員会) 有馬・長谷川・児玉

E-mail : hiro-kensyu@hcho.jp



最高の仲間と、
最高の場所で、
最高の研修を！



地方独立行政法人 広島市立病院機構
広島市立広島市民病院
Hiroshima City Hiroshima Citizens Hospital

消化器専門医志望のみなさんへ



内科主任部長 植松周二（統括）

あなたをエキサイティングな消化器内科の世界に案内します！

基本的な手技の習得からはじまり、緊急処置や高度な技術を要する最先端治療の経験、そして、患者さんに対する熱意ある診療。

広島市民病院内科には、消化管・肝・胆・膵それぞれの専門医がそろっており、研修医に対する指導に力を入れています。私たちと一緒に仕事をすることで、あなたは知らず知らずのうちに、確かな消化器内科医への道を踏み出していることでしょう。

症例も急性疾患から慢性疾患まで、また、良性疾患から悪性疾患まで十分に経験でき、頑張れば頑張るほど多くのものを身につけることができます。

オフの時間には、目と鼻の先にある繁華街に繰り出すもよし、広島カープやサンフレッチェ広島の応援に行くもよし、広島交響楽団のコンサートに行くもよし、明るく充実した研修生活があなたを待っています。



内視鏡内科主任部長 中川昌浩（消化管）

内視鏡センターでいっしょに働きましょう！

広島市民病院消化器内視鏡グループは、市中病院でありながらその業績が認められ、がんセンターを中心として現在 37 施設で構成されている JCOG(日本臨床腫瘍グループ)消化器内視鏡グループに中国地方で最も早く所属し、質の高い医療とその向上に努めています。また、常に最新の内視鏡検査、治療を行えるように多施設との情報交換も行っています。

後期研修医に対しては、指導医が責任を持って丁寧な指導しており、内視鏡検査だけでなく、ESD や ERCP などの内視鏡治療の技術習得が可能です。学会発表も全国学会、地方学会をはじめ、希望者にはアメリカやヨーロッパの学会にも積極的に参加してもらうようにしています。

また、消化器外科との合同カンファレンスが臓器別に定期開催されており、一例一例の症例をしっかりとディスカッションし、治療方針を決定しています。

内視鏡指導医、レジデント、看護師、事務等が非常に仲が良いのが最大の特徴かもしれません。雰囲気は常に明るく、活気があり、働きやすい環境です。是非いっしょに働きましょう。



内科部長 平尾謙（胆膵）

ドラマチック胆膵！！

胆石膵炎や急性閉塞性化膿性胆管炎など緊急処置にて劇的に症状の改善が得られるのが胆膵の醍醐味です。緊急処置だけでなく癌の術前診断や術後合併症まで幅広く、ERCP、EUS を中心とした診断治療法の習得を目指します。

胆膵領域の患者さんは、今、とても増加しています。少しでも胆膵内視鏡に興味のある方、お待ちしております。



内科部長 詫間義隆（肝臓）

肝疾患の治療法が確実にマスターできます！

当院は広島市の中心部に位置し救急応需体制をとっており、消化器救急疾患は非常に豊富で急性肝炎や肝膿瘍、胆道疾患に対するドレーナージなど急性期肝胆膵疾患に対する治療手技をマスターできます。さらには肝癌に対するラジオ波凝固療法、肝動脈塞栓術などの手技も十分マスターできます。もちろん最近進歩のめざましい慢性ウイルス性肝炎の抗ウイルス治療に対してもガイドラインに沿った治療を学べます。

日々の臨床をこなすだけでなく消化器関連学会での発表、および論文発表を積極的に行うよう指導させていただきたいと考えております。

研修目標

内科医としての基礎的な知識、技術、経験を修得して、内科専門医の資格を得る。そして、消化器内科での診療経験を通して、指導的立場の消化器専門医となるための土台作りをする。

プログラムの特徴

サブスペシャリティ研修を優先させながら、内科専攻医2年目までに専門研修の必修要件を達成し、専攻医3年目では消化器内科研修に専念することが可能です。消化器内科では指導医の専門性を明確にしており、各領域で高度な診療、研修を経験できます。また、救急科からの入院患者数が多いため、内視鏡的止血術やドレーナージなど緊急治療の研修が十分できます。

他科研修

救急科勤務：2 か月は必修です。（その他は相談にのります。）

カンファレンス

内科カンファレンス /週 1 回 入院患者のプレゼンテーション

内視鏡カンファレンス /週 1 回 内視鏡症例の検討

肝臓カンファレンス /週 1 回 肝疾患症例の検討

胆膵カンファレンス /週 1 回 胆膵疾患症例の検討

合同カンファレンス

胃・大腸・肝胆膵 各領域別に、それぞれ週 1 回

（内科、外科、放射線科、病理診断科など複数の診療科で合同の症例検討）

内科概要

（消化器/腎臓/内分泌・糖尿病/血液/総合診療科を含む）

内科常勤医師数	24 名
内科後期研修医数	10 名
内科病床数	110 床
内科入院患者数/年(2018)	3,974 例
内科外来延患者数/年(2018)	63,880 例
後期研修医受け持ち症例数/年	約 350 例

修得できる専門医資格

日本内科学会認定医、総合内科専門医、（新・内科専門医）
日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医
日本肝臓学会専門医、日本超音波学会専門医

診療実績

	2016	2017	2018
上部消化管内視鏡	4883	5009	5839
下部消化管内視鏡	2732	2773	3559
小腸内視鏡	55	67	73
ERCP	545	522	626
超音波内視鏡	510	484	582
消化管出血止血術	314	296	331
胃瘻造設	56	54	78
食道 ESD	41	51	68
胃 ESD	237	264	233
大腸 ESD	62	88	96
大腸 EMR	495	533	561
肝細胞癌 RFA	95	118	107
肝細胞癌 TACE	175	182	149
肝生検	125	135	113
造影超音波	251	212	153